

徳本上人の名号碑を巡る I

十一月十三日(日)、本年最終回となる「第六回諏訪形誌活用委員会企画ウォーキングイベント」が行われました。今回は「徳本上人の名号碑を巡る I」として、カンカン石をはじめ、上田市内に六基ある



出発。

「全コースを歩くグループ」は市民体育館に車を置き、上田公園を通り抜けて、大門町の願行寺北側にある徳本上人名号碑をめざしました。



「全コースを歩く」グループが移動している間に、「車で移動グループ」は「カンカン石」から大門町駐車場へ車で移動します。

大手町から海野町に向かいます。市役所駐車場周辺の工事も大分進んできているようです。

上田公園内の紅葉はもうそろそろ終わり近くなっています。まだあちこちにきれいに紅葉した樹木も残っています。気持ちよく歩きました。



「徳本上人名号碑」のうちの三基を巡るイベントでした。天候が心配される中ではありましたが、十七名の皆さんにご参加いただき、あちこちの紅葉を楽しみながら気持ちよく歩ける日になりました。また今回は、「全コース歩く皆さん」と「車で移動する皆さん」の二つのグループに分けて実施しました。

まずは、諏訪形の「カンカン石」で徳本上人の足跡や名号碑について、北沢伴康諏訪形誌活用委員会顧問から説明を受けました。いつもながら、北沢顧問は地元の皆さんの話などを交えながらわかりやすいお話をしてくださいました。その後、五台の車に分乗して



大門町の願行寺は、諏訪形とも関わり深い寺院です。「諏訪形誌一九七ページ」にも願行寺と諏訪形の関係が記載されています。また、「諏訪形誌web版」の「徳本上人と名号碑」には願行寺についても紹介されていますので、こちらも読みください。上の写真で中央の背の高い石碑が「徳本上人名号碑」です。北沢顧問の解説にも一層力が入ります。



願行寺から観光客に人気の柳町を抜け、紺屋町、新町を通って向源寺に向かいます。このあたりはあちこちに昔の街道沿いらしい町並みが見られ、歩いていて楽しい場所です。約五十分で向源寺に着きました。

向源寺にある小菅訓導の墓碑は、諏訪形の「小菅訓導遭難殉職記念碑」を模したもものとなっています。詳しくは『諏訪形誌』一五〇ページをご参照ください。また、『諏訪形誌web版』の第三回「諏訪形誌を歩く(教育関連遺跡を歩く)」配付資料には『諏訪形誌』本文にはない資料も掲載されていますので、お読みいただけたら幸いです。



私たちがここから、今日三基目の名号碑となる「芳泉寺の名号碑」に向かいますが、途中で映画「たそがれ清兵衛」の決闘シーンが撮影された河原や旧丸山邸(豪商の屋敷で、上田城の保存でも知られた)の庭も見学しました。



この芳泉寺には、眞田信行の奥方、小松姫の墓所もあり、お参りすることができます。私たちも墓参をさせていただいた後、解散しました。



ご参加いただいた皆さんの感想

- ・心配されていた天候にも恵まれ、紅葉の中、いろいろ説明していただきました。初めて訪れる場所もあり、とても有意義なひとときでした。
- ・いろいろなお寺を巡り、楽しかったです。北国街道をまたゆっくりと散策できたらと思います。
- ・この企画を大いに楽しみたいと思います。よろしく願いします。
- ・初回からずっと参加させていただいています。今回は「全コース歩く」グループに参加しました。紅葉で美しい道筋、道すがらお話しできる知識の数々。今回も大満足でした。次回もおおいに期待しております。本当にありがとうございました。
- ・北国街道を歩いて様々な発見があり、楽しく歴史を学びました。

今回もたくさんの方のご参加、ありがとうございました。本年のウォーキング企画はこれが最終回となります。来年は三月後半から四月初半の間に「徳本上人の名号碑を巡る II」を企画したいと思っています。また、それ以降も本年同様イベントを計画していく予定です。ご参加ください。

諏訪形以外の皆さんのご参加も歓迎します。詳細は後日、web上で発表させていただきます。

